

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 ・定時株主総会 3月31日
・期末配当 3月31日

公告方法 電子公告により行います。

(当社のホームページに掲載
<https://www.utoc.co.jp/>)

事故、その他やむを得ない事由によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

<https://www.smtb.jp/personal/agency/>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がない株主様は、当社が開設した特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

モノを動かし、ミライをつくる。



株式会社 宇徳



〒231-0007
神奈川県横浜市中区弁天通六丁目85番地
TEL: 045-201-6931
証券コード 9358



第154期 株主通信
2020.4.1 ~ 2021.3.31

UTO PRESS

NEWS FLASH

名護東道路 数久田 IC の橋桁一括架設工事を3橋実施
ガントリークレーン入替工事を実施
宇徳通運株式会社が当社グループ会社に



株式会社 宇徳

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、このたびの新型コロナウイルス感染症拡大により罹患された方々および影響を受けている皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈りいたします。

ここに当社第154期における取組みおよび成果についてご報告申し上げますとともに、今後の見通しについてご説明申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長 **田邊 昌宏**



Q 当期の営業概況はいかがでしたか

A 当期においては、期初から新型コロナウイルスが世界中で感染拡大し、当社グループを取り巻く事業環境としましても、京浜港（東京港・横浜港）全体では、世界的な需要の減少やコンテナの需給ひっ迫、配船の影響により、外貿コンテナ取扱量が減少、自動車や建設機械の輸出も回復傾向は見られるものの減少となりました。

当社の事業別として、港湾事業につきましては貨物取扱い全般が低調な中、完成車および建設機械等は第3四半期以降、徐々に取扱量が回復したものの、通年では前年度を下回る結果となりました。コンテナ取扱量に関しては、全体的な荷動きの減少に加え、寄港隻数減少もあり、前年度を下回りました。プラント・物流事業のうちプラントにつきましては、国内発電所の構内作業では通期にわたる輸送作業や新規受注案件も含め、着実に実績を積み上げました。

一方、国内一般工事では新たな領域への取組みとして再生エネルギープラント建設工事を実施しましたが、想定外の費用が発生する等の要因により、大きく採算を下回りました。海外では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるプラント建設工事の中断・延期等のため減収減益となりました。物流につきましては、世界的なコンテナの不足により、一般貨物の取扱量が減少しましたが、重量物輸送においては第4四半期に輸出入貨物の取扱が増加したことにより、堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの総力をあげて営業活動を展開した結果、営業収入は487億22百万円（前年同期比10.2%減）、営業利益は4億54百万円（同84.0%減）、経常利益は6億74百万円（同78.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は8億23百万円（同66.0%減）となりました。

Q 来期の見通しはいかがですか

A 来期の連結業績につきましては営業収入500億円（当期比2.6%増）、営業利益18億円（同296.2%増）、経常利益20億円（同196.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益14億円（同70.1%増）となる見通しでございます。

新型コロナウイルス感染症拡大の終息が未だ見えない中ではございますが、港湾事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した完成車、建設機械の取扱いで回復を見込む一方、コンテナ貨物

に関しては、若干の取扱い減少を見込んでおります。

また、プラント・物流事業のうちプラントでは、国内発電所での構内作業が端境期を迎えますが、特殊機材を活かした橋梁関連工事および海外でのプラント工事を見込んでおります。なお、再生エネルギープラント建設工事につきましては、内容を精査の上、慎重に取り組んでまいりたいと思っております。物流では、当期に比べ重量物輸送案件の減少が見込まれますが、倉庫関連では新規案件の獲得や収益改善を予想しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします

A 当社グループは創業時よりモノを「動かす」ことを継続し、多様化するニーズに対応してまいりました。現在も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、役職員一丸となり皆様のニーズにお応えするべく業務を遂行しております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は依然として

残るものと予想されますが、当社グループは港湾・プラント・物流のフィールドで提供する「モノを動かす」サービスにさらなる磨きをかけ、社会に貢献してまいりてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

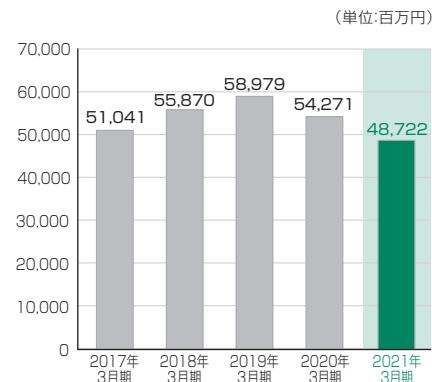
企業理念

1. 顧客のニーズと時代の要請に沿った高品質なサービスの提供を通じ社会に貢献し、企業価値の向上を目指します。
2. 社会規範と企業倫理に則った透明性の高い経営を行い、チャレンジ精神豊かな人間性を尊ぶ企業を目指します。
3. 全ての事業領域での安全確保の徹底と環境保全に努めます。

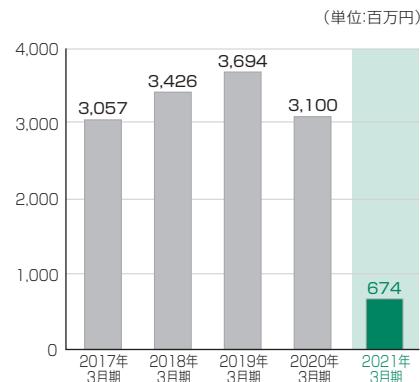
第154期（2021年3月期）ハイライト

営業収入	487億22百万円	前年同期比	△ 10.2%
経常利益	6億74百万円	前年同期比	△ 78.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	8億23百万円	前年同期比	△ 66.0%
1株当たり当期純利益	19円4銭	前年同期比	△ 66.0%

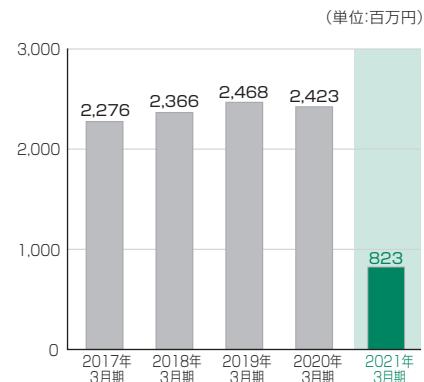
営業収入



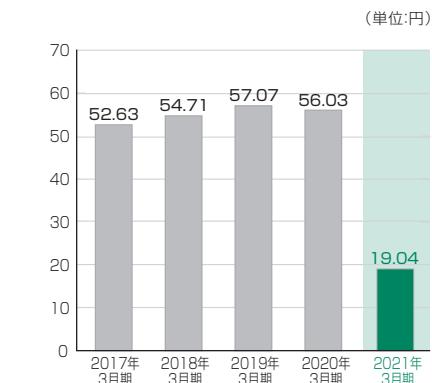
経常利益



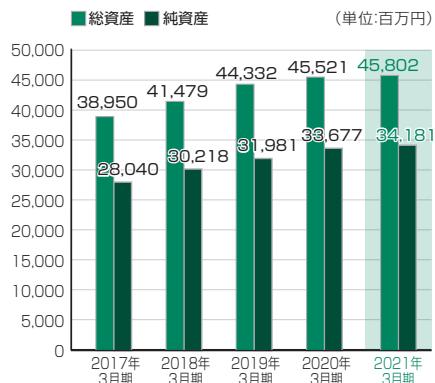
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



総資産／純資産



自己資本比率／有利子負債



連結貸借対照表（要旨）

科目	期別	
	前期 2020年3月31日現在	当期 2021年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	27,642	26,324
現金及び預金	4,707	4,009
受取手形及び営業未収入金	10,869	11,829
その他	12,187	10,486
貸倒引当金	△ 120	△ 1
固定資産	17,878	19,478
(有形固定資産)	(11,654)	(12,962)
建物及び構築物	3,877	5,238
機械装置及び運搬具	2,959	2,693
土地	3,074	3,849
その他	1,743	1,181
(無形固定資産)	(2,163)	(2,092)
(投資その他の資産)	(4,060)	(4,423)
投資有価証券	1,733	2,268
その他	2,756	2,784
貸倒引当金	△ 429	△ 630
資産合計	45,521	45,802

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 2020年3月31日現在	当期 2021年3月31日現在
●負債の部		
流動負債	7,995	7,455
支払手形及び営業未払金	4,403	4,221
短期借入金	697	712
1年内返済予定の長期借入金	21	55
その他	2,873	2,466
固定負債	3,848	4,165
退職給付に係る負債	2,839	3,023
その他	1,008	1,141
負債合計	11,843	11,621
●純資産の部		
株主資本	32,597	32,902
資本金	2,155	2,155
資本剰余金	330	330
利益剰余金	30,142	30,446
自己株式	△ 30	△ 30
その他の包括利益累計額	1,010	1,213
その他有価証券評価差額金	562	930
為替換算調整勘定	494	314
退職給付に係る調整累計額	△ 46	△ 31
非支配株主持分	69	65
純資産合計	33,677	34,181
負債及び純資産合計	45,521	45,802

セグメント別概況(連結)

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	当期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業収入	54,271	48,722
営業支出	43,066	40,308
営業総利益	11,205	8,414
業務費及び一般管理費	8,368	7,959
営業利益	2,836	454
営業外収益	291	255
営業外費用	27	35
経常利益	3,100	674
特別利益	711	755
特別損失	256	229
税金等調整前当期純利益	3,555	1,200
法人税、住民税及び事業税	1,135	420
法人税等調整額	△ 3	△ 42
当期純利益	2,423	823
親会社株主に帰属する当期純利益	2,423	823

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	当期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,186	620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,975	△ 791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 678	△ 667
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△ 66
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△ 464	△ 904
現金及び現金同等物の期首残高	3,882	3,417
現金及び現金同等物の期末残高	3,417	2,512

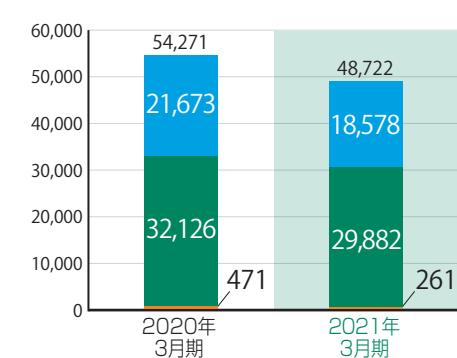
連結株主資本等変動計算書(要旨) (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	2,155	330	30,142	△ 30	32,597	562	494	△ 46	1,010	69	33,677
当 期 変 動 額											
剰余金の配当			△ 518		△ 518						△ 518
親会社株主に帰属する当期純利益			823		823						823
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						368	△ 179	14	203	△ 3	199
当 期 変 動 額 合 計	-	-	304	△ 0	304	368	△ 179	14	203	△ 3	503
当 期 末 残 高	2,155	330	30,446	△ 30	32,902	930	314	△ 31	1,213	65	34,181

セグメント別営業収入

(単位:百万円)



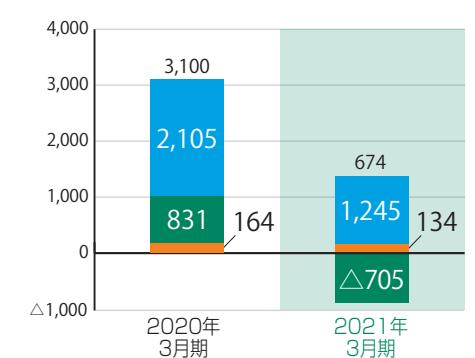
港湾事業



営業収入
185億78百万円
経常利益
12億45百万円

セグメント別経常損益

(単位:百万円)



新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け貨物取扱い全般が低調な中、完成車は年度後半以降、建設機械等は第3四半期以降、徐々に、取扱量が増加し、第4四半期もその回復傾向が見られましたが、前年度を下回る結果となりました。コンテナ取扱量に関しては、寄港隻数減少が要因となり減少しました。これらの影響により、事業全体では減収減益となりました。

プラント・物流事業



営業収入
298億82百万円
経常損失
7億5百万円

プラントは、国内発電所の構内作業では通期にわたる輸送作業や新規受注案件も含め、着実に実績を積み上げました。一方、国内一般工事では新たな領域への取組みとして再生エネルギープラント建設工事を実施しましたが、想定外の費用が発生する等の要因により、大きく採算を悪化させました。海外では新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるプラント建設工事の中断・延期等のため減収減益となりました。物流は、世界的なコンテナの不足により、一般貨物の取扱量が減少しましたが、重量物輸送においては第4四半期に輸出入貨物の取扱量が増加したことにより、堅調に推移しました。しかしながら、事業全体では減収ならびに大幅な減益となりました。

その他

自社ビル等不動産の賃貸等があります。

名護東道路 数久田ICの 橋桁一括架設工事を3橋実施

沖縄県で初の橋桁一括架設工事として高く注目される工事に

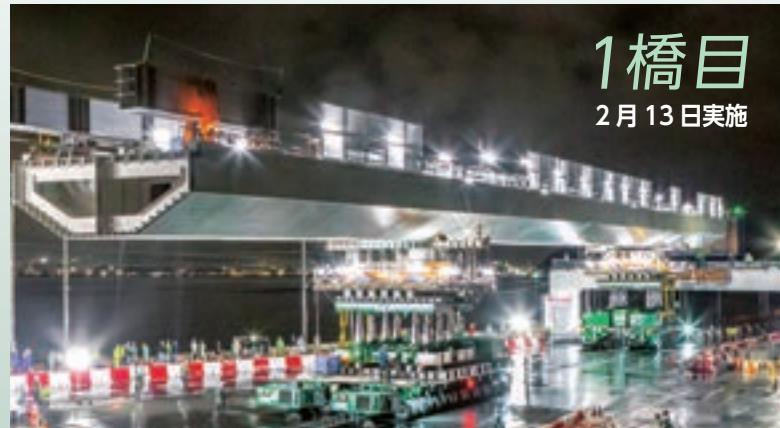
2021年2月から3月にかけて、沖縄県名護市にて名護東道路 数久田ICオンランプ部の橋桁一括架設工事を3橋実施いたしました。

名護東道路は、名護市街地の混雑緩和に寄与するとともに、沖縄自動車道と連携し、本島北部の観光振興、物流の効率化を図るために計画された、延長6.8kmの自動車専用道路でございます。

本工事は、当社が行った橋桁一括架設工事として最長距離となる約700mを輸送し、架設する難易度の高い工事でしたが、当社が保有する特殊機材の能力を最大限に活かし、工事を完遂いたしました。



	実施日	長さ	重量	ヤード	輸送距離
1橋目	2月13日	約105m	約500t	南	約100m
2橋目	2月27日	約110m	約600t	北	約700m
3橋目	3月6日	約60m	約300t	北	約600m



1橋目は地組(南)ヤードが架設地点から近いため、21時から翌5時まで交通規制し、当社保有の多軸台車「スーパーキャリア」での輸送は位置調整時間を含め2時間15分以内で計画・実施いたしました。



2橋目は、輸送距離が長いだけでなく、電柱や橋脚等の支障物を避けながらも、速度を上げる走行を求められていましたが、当社の技術力を発揮し約700mを輸送いたしました。

また、架設地点においてはスーパーキャリアでの平面精度50mm以内で計画されていましたが、各所10mm以内まで調整し、既設桁および橋脚上の調整ジャッキにて微調整・ボルト締め作業を行いました。



3橋目は、橋桁の重量が1橋目や2橋目より軽いため、摩擦力低下により受け点がずれる傾向にあり、水平調整を行う必要がありました。また、3橋目のみスーパーキャリアにてボルト締め作業まで行いました。平面位置や高さ、傾斜の微調整を行い、ボルトが入る精度まで合わせ工事は無事に完了いたしました。

ガントリークレーン入替工事を実施 コンテナ船大型化への対応やリードタイム短縮が実現

2020年12月から2021年3月にかけて、大井埠頭4号バースにて共用されている



既設GCは吊り上げたまま解体場所へ輸送

ガントリークレーン(以下、GC)3基の入替工事が行われました。

2015年には3号バース側設置のGC3基を入れ替えており、今回の導入を経て、3・4号バースに共用されているGC6基全てが、従来の本船デッキ上7段18列対応から9段21列対応となり、20フィートコンテナを2本同時に荷役できるツインスプレッダー機能を保有しています。これにより、近年顕著な傾向を示しているコンテナ船の大型化への対応力強化および荷役作業効率向上に伴うリードタイム



台船で輸送された新GC3基

短縮が見込まれ、国内港湾における国際競争力の回復につながっていくことが期待されます。

宇徳通運株式会社が当社グループ会社に 重量物輸送の収益拡大を目指す

2021年2月26日より、宇徳通運株式会社が当社のグループ会社に加わりました。宇徳通運株式会社は、沼津宇徳株式会社として1950年に当社より独立し、その後、多様化するニーズに即応するため、重量物輸送、据付・組立、倉庫業、

梱包業などの事業を展開しています。当社は、静岡地区でのプレゼンスを高めることを目的に、同社の株式を100%取得し、プラント・物流事業の成長戦略のひとつである重量物輸送の収益拡大を目指してまいります。



舵切伸縮台車

会社概要

商号：宇徳通運株式会社
代表取締役社長：小笠原 一夫
本社：静岡県沼津市大岡2060-1
資本金：45,000千円

営業種目：機械器具設置工事業、一般貨物自動車運送事業、貨物自動車利用運送事業、工作機械の組立および各種機械器具の組立事業、梱包業(輸出梱包・国内梱包)、倉庫業、労働者派遣事業、産業廃棄物収集運搬業

株式の状況 (2021年3月31日現在)

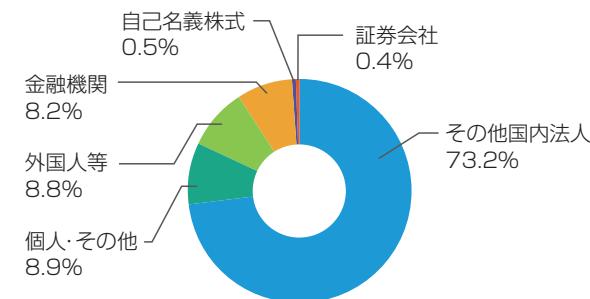
発行可能株式総数 96,000,000株
発行済株式総数 43,448,099株
議決権を有する株式数 43,236,000株
株主数 2,636名

大株主の状況(上位10位)

	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社商船三井	28,919	66.9
光通信株式会社	2,344	5.4
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,600	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	898	2.1
三井住友信託銀行株式会社	574	1.3
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	452	1.0
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	428	1.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	413	1.0
三井住友海上火災保険株式会社	332	0.8
株式会社三井住友銀行	273	0.6

(注)出資比率は自己株式200,910株を控除して計算しております。

所有者別の状況



会社の概況 (2021年6月25日現在)

商号 株式会社宇徳
本社所在地 神奈川県横浜市中区弁天通六丁目85番地
創業 1890年(明治23年)3月1日
設立 1915年(大正4年)12月8日
資本金 21億5,530万円
従業員数 1,661名(連結) ※2021年3月末現在
主要な事業内容 港湾運送事業、海上運送事業、一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、通関業、建設業、不動産業

役員	代表取締役社長	田邊 昌宏
代表取締役専務	小川 宏	
代表取締役専務	廉岡 卓	
常務取締役	佐々木 敏幸	
常務取締役	鍋田 康久	
常務取締役	赤羽 正光	
取締役	片野 英明	
取締役	上田 裕	
取締役	戸石 尚	
取締役	石川 敬一郎	
※1 取締役	中井 元	
※1 取締役	田中 庸介	
取締役	高松 泰則	
常勤監査役	飯田 知己	
※2 常勤監査役	津田 昌明	
監査役	武田 俊明	
※2 監査役	河合 千尋	

(注) ※1は、社外取締役であります。 ※2は、社外監査役であります。

宇徳グループ 19社
宇徳ロジスティクス(株) 宇徳流通サービス(株) 九州宇徳(株)
宇徳通運(株) 宇徳プラントサービス(株) 宇徳港運(株)
宇徳トランスネット(株) ターミナル・エンジニアリング(株)
宇徳ターミナルサービス(株) (株)宇徳ビジネスサポート
アジアカーゴサービス(株)
UTOC AMERICA, INC. ASIA UTOC PTE. LTD.
UTOC (THAILAND) CO., LTD. 宇徳物流(天津)有限公司
UTOC MULTIPACK MYANMAR CO., LTD.
UTOC ENGINEERING PTE. LTD.
UTOC PLANT CONSTRUCTION SDN. BHD.
UTOC ENGINEERING & MAINTENANCE SDN. BHD.